

貸借対照表

令和5年 3月31日

学校法人 阿佐ヶ谷学園
(単位 円)

資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産		2,502,228,553	2,515,468,449	△ 13,239,896
有形固定資産		2,489,551,754	2,502,791,662	△ 13,239,908
その他の固定資産		12,676,799	12,676,787	12
流動資産		634,763,082	632,594,044	2,169,038
資産の部合計		3,136,991,635	3,148,062,493	△ 11,070,858
負債の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債		418,332,696	463,445,086	△ 45,112,390
流動負債		481,227,692	459,504,389	21,723,303
負債の部合計		899,560,388	922,949,475	△ 23,389,087
純資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
基本金		2,337,000,000	2,337,000,000	0
繰越収支差額		△ 99,568,753	△ 111,886,982	12,318,229
純資産の部合計		(2,237,431,247)	(2,225,113,018)	(12,318,229)
負債及び純資産の部合計		3,136,991,635	3,148,062,493	△ 11,070,858

注記

- 1. 重要な会計方針
- 2. 重要な会計方針の変更等
- 3. 減価償却額の累計額の合計額
53,523,619 円
- 4. 担保に供されている資産の種類及び額

5. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりである。

名 称	阿佐ヶ谷美術社 株式会社			
事 業 内 容	書籍の企画、制作、印刷、出版及 び販売業他			
資 本 金	9,000,000 円			
学校法人の出資状況	9,000,000 円	900 株	総株式に占める割合 100%	
出 資 の 状 況	平成30年2月28日	3,000,000 円	300 株	
	令和3年12月6日	6,000,000 円	600 株	
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄附の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	当該会社からの受入額		0	
	当該会社への支払額		0	
	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
	当該会社への出資金	9,000,000	0	9,000,000
	当該会社への長期貸付金	0	0	0
保 証 債 務	学校法人は当該会社について債務保証を行っていない。			

事業活動収支計算書

令和4年 4月 1日から

令和5年 3月 31日まで

学校法人 阿佐ヶ谷学園

(単位 円)

		科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	502,041,900	539,187,288	△ 37,145,388	
		手数料	4,685,000	4,055,100	629,900	
		経常費等補助金	32,000,000	44,043,800	△ 12,043,800	
		雑収入	203,000	24,981,216	△ 24,778,216	
		教育活動収入計	(538,929,900)	(612,267,404)	(△ 73,337,504)	
	事業活動支出の部	人件費	321,974,465	366,992,692	△ 45,018,227	
		教育研究経費	129,927,487	104,462,644	25,464,843	
		管理経費	132,644,028	126,359,441	6,284,587	
		教育活動支出計	(584,545,980)	(597,814,777)	(△ 13,268,797)	
		教育活動収支差額	(△ 45,616,080)	(14,452,627)	(△ 60,068,707)	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	5,400	212,206	△ 206,806	
		その他の教育活動外収入	(4,250,000)	(4,677,049)	(△ 427,049)	
		教育活動外収入計	(4,255,400)	(4,889,255)	(△ 633,855)	
		事業活動支出の部	借入金等利息	6,344,218	6,902,733	△ 558,515
	教育活動外支出計		(6,344,218)	(6,902,733)	(△ 558,515)	
	教育活動外収支差額		(△ 2,088,818)	(△ 2,013,478)	(△ 75,340)	
	経常収支差額		(△ 47,704,898)	(12,439,149)	(△ 60,144,047)	
	特別収支	事業活動支出の部	資産処分差額	0	120,920	△ 120,920
			特別支出計	(0)	(120,920)	(△ 120,920)
			特別収支差額	(0)	(△ 120,920)	(120,920)
基本金組入前当年度収支差額			△ 47,704,898	12,318,229	△ 60,023,127	
当年度収支差額	△ 47,704,898	12,318,229	△ 60,023,127			
前年度繰越収支差額	△ 82,608,411	△ 111,886,982	29,278,571			
翌年度繰越収支差額	△ 130,313,309	△ 99,568,753	△ 30,744,556			
(参考)						
事業活動収入計		543,185,300	617,156,659	△ 73,971,359		
事業活動支出計		590,890,198	604,838,430	△ 13,948,232		

財 産 目 録

令和 5年 3月 31日現在

資 産 計	金	3,136,991,635 円
基本財産	金	2,502,228,553 円
運用財産	金	634,763,082 円
負 債 計	金	899,560,388 円
正味財産	金	2,237,431,247 円

1 基本財産 金 2,502,228,553 円

(1) 校 地

所 在 地	面 積	評 価 額	備 考
杉並区梅里	1686.31 m ²	820,231,000 円	
諏訪郡落合	5251 m ²	191,381,000 円	
諏訪郡富士見	17045.27 m ²	406,765,102 円	
中央区日本橋	137.10 m ²	74,453,709 円	
合 計		1,492,830,811 円	

(2) 校 舎

学 校 名	面 積	評 価 額	備 考
杉並区梅里	3360.05 m ²	281,092,091 円	
諏訪郡富士見町	8794.41 m ²	538,923,502 円	
中央区日本橋	735.15 m ²	17,902,956 円	
合 計		837,918,549 円	

(3) 構築物・建物付属設備・建設仮勘定

名 称	数 量	評 価 額	備 考
構築物	6 件	4,703,641 円	
建物付属設備	60 件	34,843,604 円	
建物仮勘定	0 件	0 円	
合 計		39,547,245 円	

(4) 備品、図書等

種 別	名 称	数 量	評 価 額	備 考
教育研究用機器備品	MacBook Air、外	667 点	28,434,553 円	
管理用機器備品	物置、外	1,476 点	67,206,444 円	リース分1,315点
図 書	ヴァトー、外	5,893 冊	23,606,652 円	
車 輜	クリッパーバン	1 台	7,500 円	
合 計			119,255,149 円	

(5) その他の固定資産

種 別	名 称	数 量	評 価 額	備 考
電話加入権	03-3313-8655、外	4 件	308,464 円	
出資金	第一勧業信用組合	1 件	500,000 円	有価証券
有価証券	阿佐ヶ谷美術社(株)	1 件	9,000,000 円	
保証金	セコム	1 件	250,000 円	
退職金積立預金	三菱UFJ銀行	1 件	1,110,185 円	
地 役 権	三浦君博、外	2 件	1,500,000 円	
リサイクル預託金	クリッパーバン	1 件	8,150 円	
		件	円	
合 計			12,676,799 円	

2 運用財産 金 634,763,082 円

(1) 預 金 (現 金)

種 類	銀 行 名	預 金(現 金)高	備 考
普 通 預 金	みずほ銀行	176,111,304 円	
	第一勧業信用組合	719,239 円	
	三菱UFJ銀行	424,773,127 円	
	東日本銀行	3,299,253 円	
	ゆうちょ銀行	2,430,930 円	
定 期 預 金		0 円	
現 金		1,235,237 円	
合 計		608,569,090 円	

(2) 流動資産

種 別	名 称	数 量	金 額
未 収 入 金	退職金、外	20 件	25,734,591 円
前 渡 金	杉並公会堂、外	7 件	459,401 円
立 替 金		件	0 円
仮 払 金		件	0 円
合 計			26,193,992 円

3 負債 金 899,560,388 円

(1) 借入等

種 別	名 称	数 量	評 価 額	備 考
借 入 金	東日本銀行	1 件	313,146,000 円	
退職給付引当金			36,719,491 円	
長期未払金		5 件	68,467,205 円	
合 計			418,332,696 円	

(2) 未払金等

種 別	名 称	数 量	評 価 額	備 考
未 払 金	退職金、外	34 件	28,967,223 円	
前 受 金	授業料、外	448 件	441,099,030 円	
預 り 金	所得税、外	381 件	11,161,439 円	
		件	円	
合 計			481,227,692 円	

令和4年度 学校法人阿佐ヶ谷学園・阿佐ヶ谷美術専門学校 事業報告書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1. 法人の概要

(1) 教育理念

－ 精神の真の自由を獲得し、人間性に基づく社会の実現を目指します－

人間は、総合性によって精神の開放を会得する生き物です。

人間は自然の一員として、自然から学び、その上に立って所業（ナリワイ）を構築します。

人間は自然の一員として、自然から英知を得ることによって目的の成就が計られます。また様々な物事の総合的な学びによって精神の真の解放を会得し、自由を獲得する生き物でもあります。それをもって本校の目標とする人材教育は、社会に真善美を形成し得る人間であり、その過程、結果によって拓ける自身の職業の道を耕し、理念を守り広め得る人の育成です。

アートやデザインの視覚文化は言語よりもわかりやすいグローバルなコミュニケーション手段です。視覚文化を通して貢献できる人材を育成することが本校の務めです。ヨーロッパの大学との交流で国際的な視野を培い、先進的な情報メディアによるクリエイティブワークを先駆けて学習に取り入れることで新しい感性と技術を育てています。自分の能力と目的にあわせてデザインと美術を学べる3年制による美術デザインの総合専門学校として、基礎力のある方は2年次編入制度を利用すると2年間で卒業可能です。本校卒業程度の力がある方には更に1年間で希望する事が学べる、研究科が用意されています。

(2) 本校教育の特色

A 入学時は、学生自身、自分がどのような仕事に向いているか、なかなかわからないものです。本校は1年生の前期中に、様々なコースのエッセンスをちりばめた授業（共通基礎）を体験、学習します。その事によって、自分がどのような仕事に向いているのか、熱中できるかを見つけていきます。そして後期にそれぞれのコースを選択し、各分野コースの専門基礎を学んでいきます。

また、どのコースや分野であっても、やはり共通に必要な基礎というものがあります。時代が変わっても、ものづくりに直接必要なパソコンやカメラ機器の使い方や造形のセンスです。1年次前期から様々な学習を体験しつつ、共通となる造形センスを高めるデッサンや機器の取り扱い方、生かし方も同時に学習できるシステムになっています。2年3年になると、より専門性の高い授業になっていきますが、学生が無理なく技術を習得できるよう、実務に強い講師を多く揃えています。学科、コース、学年の区別なく選択可能な授業も用意されています。就職については1年生後期より、様々な職種のインフォメーションから、具体的な面接、ポートフォリオの作り方まで、きめ細かい指導を行ないます。

B 阿佐ヶ谷美術専門学校総合クリエイティブ研究所 (A.T.C.L) の設立と 役割及び教育上の取り組み

本校は教室内教育と同時に学校外で実際の社会の要請案件を行う為、専用の機関を設立し、重要な一翼を担わせています。

その中で行われる事は、実社会の問題と直接向き合い、取り組み解決を目指す事です。

学生自ら現場に入り解決を試みます。美術、デザイン教育においても、社会と遊離した自己満足的教育になってはならず、個々の創作が社会の中で有効な働きをしてこそ価値があると言えます。

それは学生にとっても自分の中で想像が空転する事なく自己の力の見える化、自信にもつながります。設立から長い年月を経っていますが、今日においてもテーマによっては毎年継続し、取り組んでいる事案もあります。

<主な取り組み>

昭和時代 杉並区高円寺商店街の1つの(ルック商店街)ブランディング
デザイン(ネーミング、入り口アーチ、ロゴマーク制作など)

平成25年~平成27年

堀の内妙法寺商店街のブランディングデザイン

平成28年~

新潟県小千谷市要請によるアートによる町作り。

(平成30年)市民広場にモニュメント制作、設置

平成28年 杉並区代田橋沖繩通りの活性化関連デザイン

平成29年~(平成30年)福島県南相馬市からの要請の農作物販売用の
デザイン及び藍染の商品関連の企画

平成30年 杉並警察署から要請された防犯ポスターの制作デザイン

平成30年 杉並区永福町商店街のフラッグデザイン

令和元年 新型コロナ感染症蔓延のため外部との交際を極力控えた為、
~2年 新規の取り組みは少ない。

JR線阿佐ヶ谷駅高架下、ギャラリー仕様の空き店舗で、絵画表現
コースの助手が個展開催

令和3年 南相馬の「ごろくファーム」のパッケージラベル、オリジナルキ
ャラクターデザイン、リーフレットを、視覚デザインコースが企画
制作

令和4年 南相馬の「ごろくファーム」のパッケージラベル、オリジナル
キャラクターデザイン、リーフレットを、継続制作。

高円寺ルック商店街の装飾デザインを兼ねた卒業修了制作展のミニポスターを多数設置。

(3) 沿革

- 1952年 各種学校阿佐ヶ谷美術学園設立認可
- 1956年 学術研究機関 三輪美術研究所設置
- 1958年 デザイン専門部設置（2年制）
阿佐ヶ谷美術学園出版局より「図学概説」出版
- 1964年 デザイン専門部3年制に改編成 学校法人認可
- 1968年 アトリエ出版よりデザイン専門部編集による
「完成図の描き方」出版
- 1972年 絵画研究科設置
- 1974年 絵画研究機関「朝の会」設立
- 1977年 専修学校法による専門学校認可
- 1980年 日本アニメーション協会（会長手塚治虫氏）
との合同企画による「アニメーションワークショップ」
発足
- 1987年 フランスパリ国立高等装飾専門学校（ENSAD）と
コンピュータ通信による情報交換を開始
- 1989年 Apple社のマッキントッシュ導入によりデジタル
デザインの授業を開始
- 1991年 イメージクリエイション科新設
- 1993年 美術映像日仏交流プロジェクト、フランスの美術大学
3校により学生が多数来校。3年制+1年として
研究コース新設
- 1995年 創立50周年を迎え記念事業を行う
- 1998年 京都造形芸術大学通信教育部と単位認定制度による
併修制度発足（交流校提携）
- 2001年 イタリアの美術学校（IED）と交換留学制度を締結。
研究コースを研究科として新設
- 2002年 人形町にギャラリースペース「人形町 visions」開設。
併修制度による大学卒学士号取得者
第1期生を輩出
- 2003年 イギリスのノーウィッチ美術大学（NUCA）との交流
開始。人形町に本校の姉妹校、アートマスターズ
スクール開校

- 2005年 時空デザイン科新設。本校前身の研究所時代を合わせ、創立60周年を迎える
- 2006年 パリ国立高等装飾美術学校との第1回目の留学生交換
- 2010年 時空デザイン科からメディアデザイン科に名称変更
- 2012年 キャラクターデザイン科新設
- 2014年 メディアデザイン科から映像メディア科へ、スペースデザイン科からリビングプロダクトデザイン科へ名称変更
- 2015年 創立70周年を迎える
- 2019年 視覚デザイン科とリビングプロダクトデザイン科をデザイン学科（視覚デザインコース、リビングプロダクトデザインコース）に。キャラクターデザイン科と映像メディア科をコンテンツ学科（キャラクターデザインコース、映像メディアコース）。イメージクリエイション科と絵画表現科をアート学科（イメージクリエイションコース、絵画表現コース）に編成し、名称を変更
- 2020年 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため前期授業を遠隔（リモート）授業として開始。
- 2021年 新型コロナウイルス感染症の再拡大防止のため前期授業を、オンライン授業と対面授業を併用して実施。
5号館地下を新教室として改装。
- 2022年 新型コロナウイルス感染症の再拡大を鑑みながら、対面授業とオンライン授業の割合を調節。
6号館1階に新教室を設置。

（4）設置する学校・学科・コース

学校名	過程名	学科	コース名
阿佐ヶ谷美術 専門学校	専門課程	デザイン学科	視覚デザインコース
			リビングプロダクトデザインコース
		コンテンツ学科	キャラクターデザインコース
			映像メディアコース
		アート学科	イメージクリエイ

			シヨンコース
			絵画表現コース
	研究課程	研究科	

学校名	学科
アートマスターズ スクール	創作人形科
	日本画科
	洋画科

(5) 学生数の状況 (令和5年5月1日現在)

阿 佐 ヶ 谷 美 術 専 門 学	専 門 課 程	学科	コース	入学定 員	収 容 定 員	現員数	
						1 年 生	2・3 年生
		デザイン学科	視覚デザインコ ース	40	120	135	80
			リビングプロダ クトデザインコ ース				
	コンテンツ学科	キャラクターデ ザインコース	40	120	133		
		映像メディアコ ース					
	アート学科	イメージクリエ イションコース	40	120	52		

校			絵画表現コース				
	研究課程	研究科		20	20	8	

アートマスターズスクール	科	入学定員	収容定員	現員数
	創作人形科	30	45	29
	日本画科	30	45	42
	洋画科	30	45	36

(6) 役員、評議員、教職員の概要

①役員、評議員関係（令和4年5月1日現在）

役員・評議員	定員数	現員数
理事	5	5
監事	2	2
評議員	11	11

②教職員関係

区分	教員	職員	計
本務	12	16	28
兼務	61	34	95

2. 事業の概要

(1) 施設、設備の整備事業

- 1 必要性の高いものから整備、修理をした。

オンライン授業をスムーズに行うため、通信関係の調査。

機器の充実、設置の拡張を継続。

501 教室の水漏れを調査、対策を継続。

2号館の2階と3階の雨漏りの補修工事。

6号館の1階駐車場を教室用に改築。教室内地備を準備開始。

(2) その他の主要な事業

1 法人としては次のとおり

(A) 理事会・評議委員会の運営については、実効的かつ適正なものとした。

(B) 法人において、組織構成の整備を図り、財務に関する情報の共有を円滑にした。

2 設置する学校の具体的な事業については可能な限り、行事計画に則り実行された。

令和4年度の主な行事

令和4年	4月	入学式（荻窪の杉並公会堂にて午前午後 の2部制にて開催） 新入生ガイダンス（学校で2部制・対面） 在校生ガイダンス（学校で2部制・対面） 健康診断
令和4年	5月	アサビレクレーション 葛西臨海公園スケッチ大会
令和4年	6月	1年生個人面談（オンラインと対面の併用）
令和4年	7月	講評会 保護者会（オンライン） 夏休み 展示（オンライン）
令和4年	9月	1年生後期コース選択 1年生キャリアプロデュース授業
令和4年	10月	アサビフェスタ（オンライン）
令和4年	11月	中間作品審査 卒業制作審査
令和4年	1月	各コース合評会 卒展仕様審査
令和4年	2月	卒業制作展 （学校開催とオンライン展示を同時開催） 卒業、進級審査
令和4年	3月	卒業式（保護者・来賓を除外） 杉並公会堂で午前と午後の2部制で開催

3. 財務の概要

計算書類に記載のとおり

この事業報告書は、事務所に備えている原本と相違ないことを証明します。

令和5年6月19日

学校法人 阿佐ヶ谷学園
理事長 三輪 孝幸

監査報告書

学校法人 阿佐ヶ谷学園

理事会 御中

評議員会 御中

私達は、学校法人阿佐ヶ谷学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和4年度（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、活動区分資金収支計算書及び事業活動収支計算書）を含め、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し監査を行いました。

監査の結果、私達は、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関する不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実のないことを認め、ご報告いたします。

令和 5年 5月 23日

監事

杉田 幸伸 

監事

齊藤 誠一 